

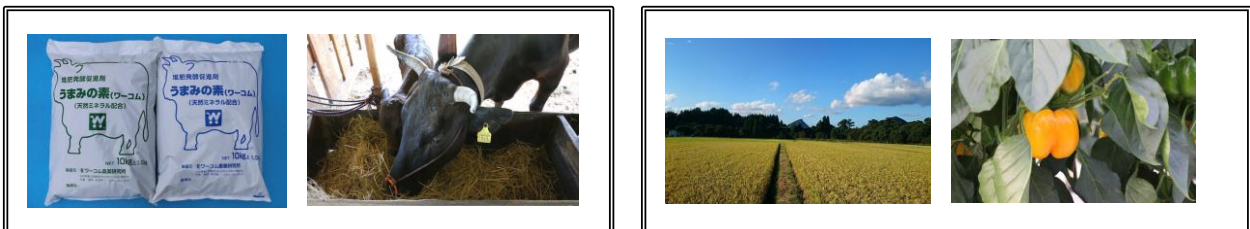
最上の農業、モンゴルを変える

堆肥発酵促進剤を活用して耕畜連携

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において有限会社ワーコム農業研究所(山形県最上市、栗田幸太郎代表取締役)が提案する「堆肥発酵促進剤を活用した耕畜連携の案件化調査」(モンゴル国)を採択しました。

モンゴルでの急速な経済成長による人口の都市への一極集中や食生活の変化により、農畜産物の需要が高まっていますが、一方で化学肥料の多用や土地の酷使により、農地が荒廃し、生産性の低下が問題となっています。

有限会社ワーコム農業研究所が開発した「ワーコム」は堆肥を生産するための堆肥発酵促進剤で、良質な有機質肥料を作ることにより、土壌の改良、農産物生産の改善及び、耕畜連携による安心・安全でモンゴルに適した持続可能な循環型農業の実現に貢献することが期待されます。本調査では、ワーコムを使用した簡易な堆肥化技術の確認、現地生産された堆肥の品質の評価及び実際の堆肥の効果の有効性について確認するとともに、現地商品化に向けた調査を行う予定です。



この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北支部 市民参加協力課 上野(担当)

TEL 022-223-4772 e-mail : Uwano.Midori@jica.go.jp